カパーロマン

美しい緑青

社団法人日本銅センター副会長
（住友軽金属工業株式会社　社長）
桝田　和彦

昨年ある会合で弊社の建築用銅管「水（すい）・湯（と）・P（ぴー）」を紹介した際、「緑青は毒だと思っていますか？」と訊いてみた。すると半数以上の人が「毒じゃないの？」との反応で驚いた。勿論その場で厚生省も公式に否定していると説明したが、この様な風説はいったん巷間に流布され教科書に載ったりすると、いくら公式に否定し辞書が訂正されても口伝の形で脈々と伝わるから恐ろしい。

アルミでもアルツハイマー病の原因物質だと妙な学者が発表し、時々テレビで取り上げられたりするからやっかいだ。ステンレス器物の訪問販売でアルミ犯人説が奥様方に流布され、それがアルミ器物業界崩壊の原因の一つと言われた。これはもう犯罪行為なので、このところ話題の風説流布罪で逮捕して欲しいくらいだ。

この様な銅やアルミに関する誤った風説は欧米にはほとんどないらしく、日本人として情けない。

「緑青」は古来日本画の顔料にも使われ、その深玄な風合は日本的で美しく、神社仏閣などの屋根や灯篭に緑青がふくと何だかありがた味が増すように感じられる。

東京近郊にも緑青の美しい建造物が沢山あるが、その一部には人工緑青板が使われ、やや風合いが異なる。自然緑青の建物でお薦めなのは「神田明神」。緑青を纏った大鳥居をくぐって振り返ると「湯島聖堂」の緑の大屋根が見え隠れし、朱色鮮やかな山門を抜けると正面に緑の屋根を被った本殿が見える。左手社殿の屋根は葺き替えてまもなくまだ赤銅色。ここは自然緑青の勉強にはもってこいのありがたい明神様なのである。

一方、最も緑青が美しい建物と言えばやはり鶴見の「總持寺」であろう。広大な敷地の奥に聳え立つ大祖堂の薄緑の大屋根は荘厳で圧巻、心が洗われる。

銅の「身からでた錆」は、実に自然で美しい。

神田明神

總持寺

銅　目次　No. 162

2　カパーロマン　美しい緑青　桝田和彦
3　銅の歴史物語　良質な素材と高い技術に支えられた百年建築　銅御殿（かねみでん）
4　ルポルタージュ　ゼロエミッションリサイクルの最前線――　直島
6　リレー随想　エキゾチック緑青
8　ユーザー訪問　おいしいごはんは銅で炊く　銅釜IH炊飯器
10　カパーストラクチャー　現代の感性が生み出す寺院建築と銅の新しい魅力　久成寺
12　カパーワールド　感染症の広がりを未然に防ぐ！　銅イオンが蚊の発育抑制に大きな効果
13　銅の需給動向
14　銅センターニュース　トピックス